

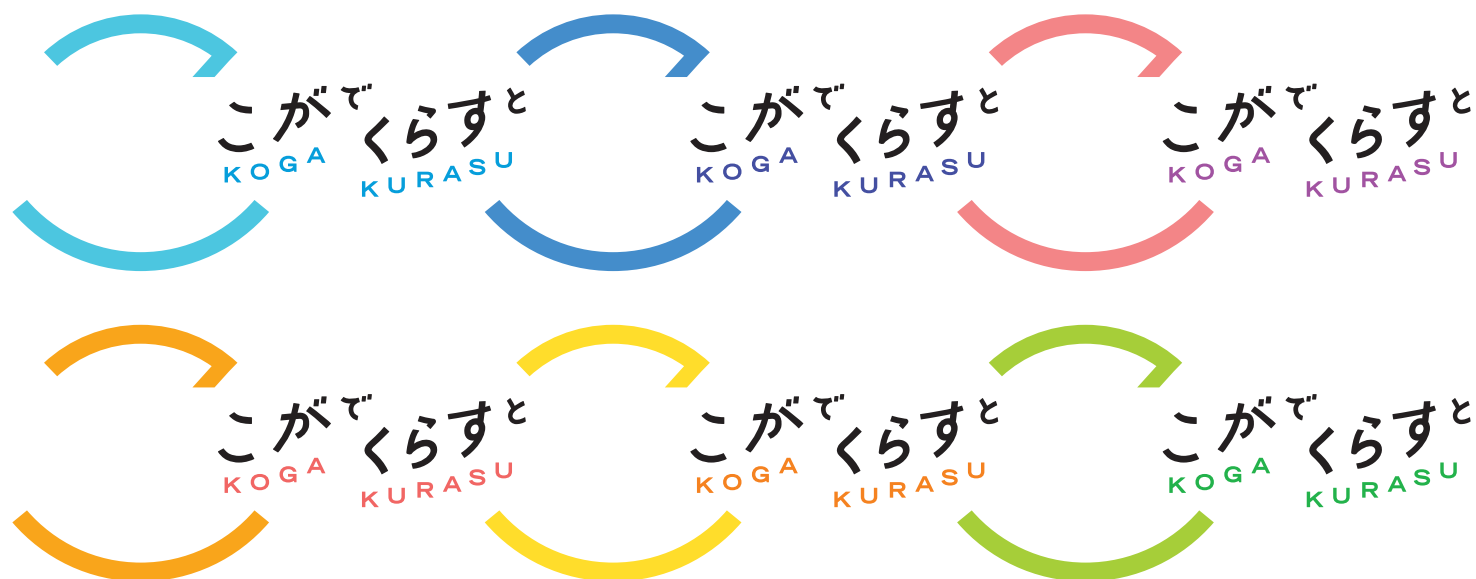


古河市ブランディング・シティプロモーション

# ロゴマークマニュアル

Ver.1 2023.4.26





**古河市の新しいブランド戦略、始まります。まちの魅力をみんなで見つけよう、共有しよう。**

古河市の新しいブランディング活動は、市民一人ひとりの心の中にある古河の良いところを、みんなで共有しながら市内外に発信していく活動です。

ロゴマークは、古河の「こ」をカッコとして活用し、

その中に一人ひとりが思うまちの魅力を入れ込み、互いに伝え合えるようにデザインしました。

「こがでくらすと」の言葉でつながり、皆さんの思いと一緒に育っていくロゴマーク。

それぞれの思いに合わせて選べるように、6色のカラーバリエーションも用意。

今後はお店やまちのさまざまな場所で、自由に使っていただけるようにしていきます。

## 基本使用について

### 03 構成要素

---

### 04 使用サイズ

---

### 05 ロゴマークの回転

---

### 06 推奨カラーパターン

---

### 07 カラーパターンのルール

---

### 08 カラーパターン モノクロ

---

### 09 禁止事項

## プロモーション使用について

### 10 プロモーション使用事例 ロゴマークの連続・基本

---

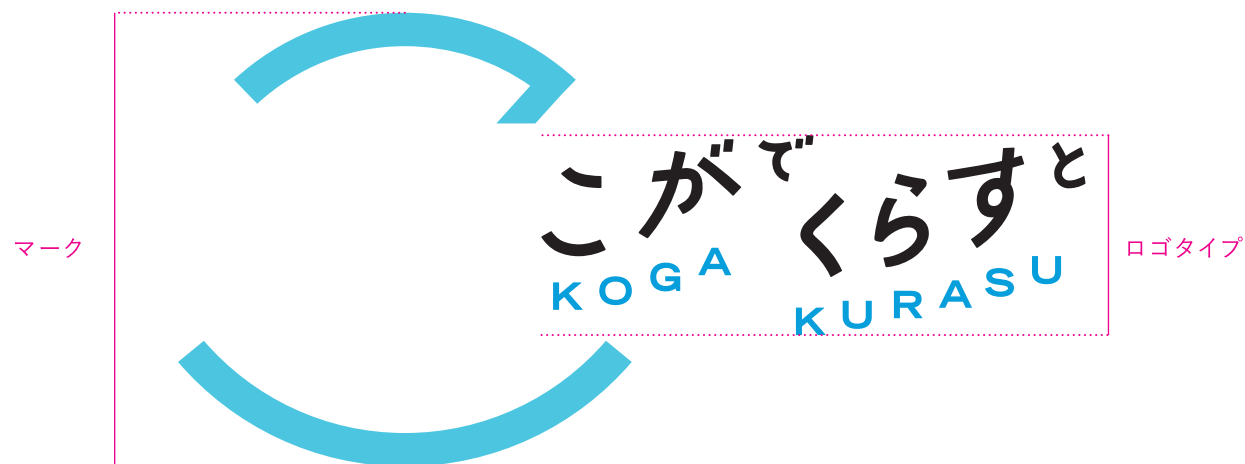
### 11 プロモーション使用事例 ロゴマークの連続・応用

---

### 12 プロモーション使用事例 写真との組み合わせ

---

### 13 推奨フォント



ロゴマークは「こ」のマークとロゴタイプで構成。  
ロゴマークとして活用する場合は  
基本パターン①か②のカタチで使用する。

基本パターン①



基本パターン②



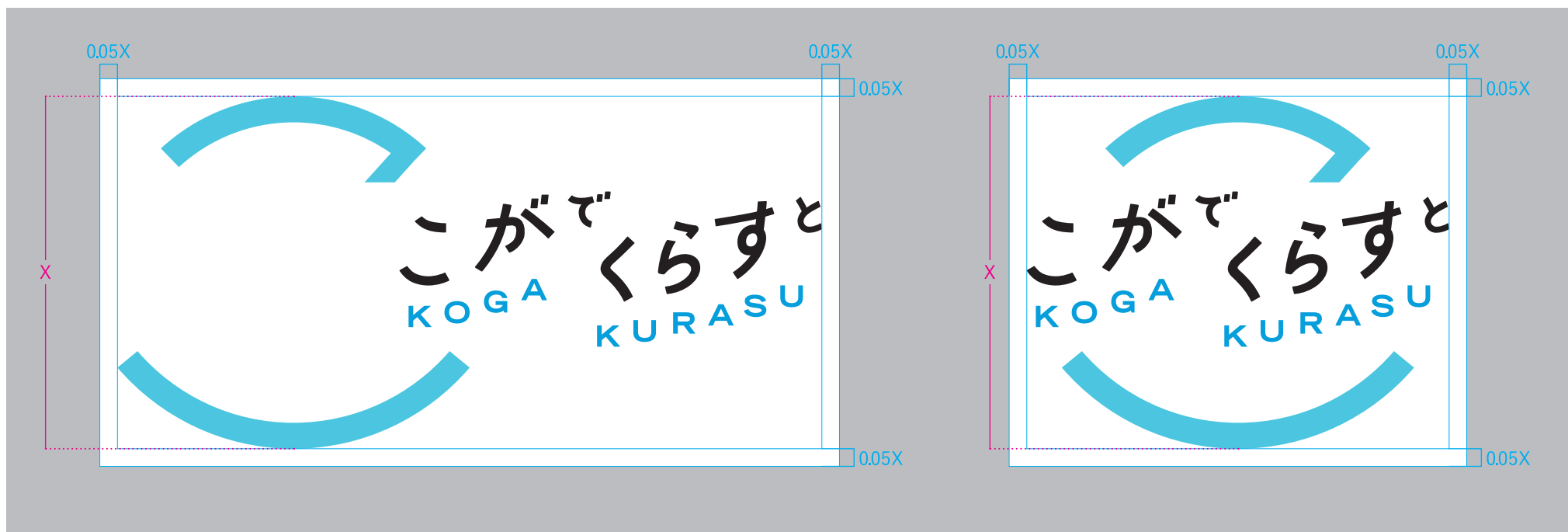
## 最小使用サイズ



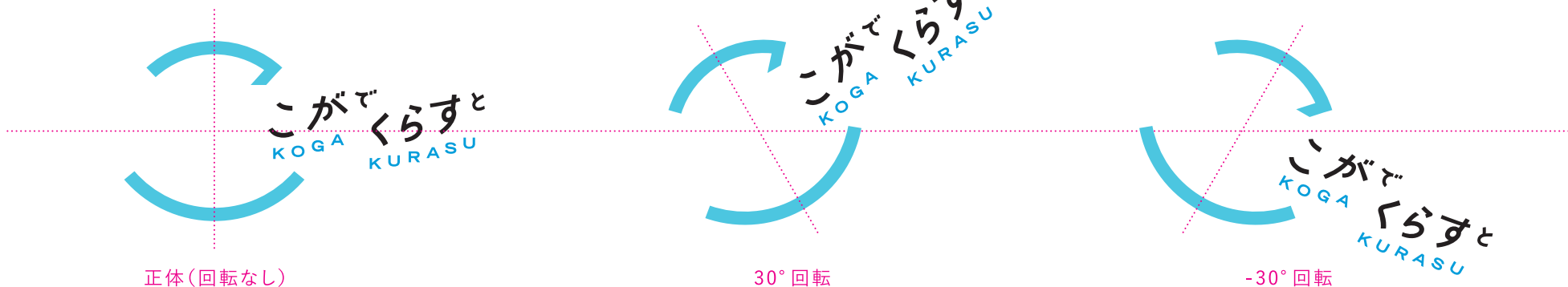
基本パターン①②ともに、**天地15mm**を最小使用サイズとする。(印刷時)

## クリアスペース

原則として、ロゴマークが途中で切れることがないように、印刷や掲示・設置、使用するサイズに合わせて、**ロゴマークの周りに十分なクリアスペース(余白)**を確保する。最小クリアスペースは下記とする。



プロモーションにおけるグラフィック制作を目的とする場合、  
基本パターン①を $-30^{\circ}$ ～ $30^{\circ}$ の範囲で回転させて使用することも可能。



正しい使用事例

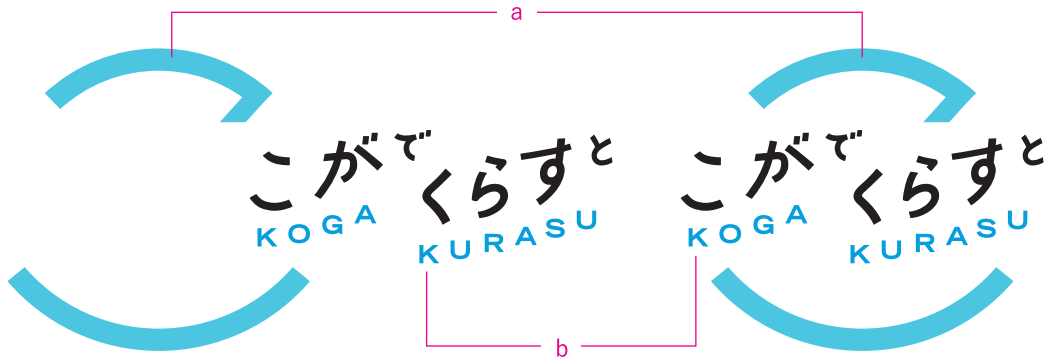


間違った使用事例



範囲を超えた角度の回転や、上下左右の反転は不可。

ロゴマークとしての役割が重視される場合は、回転はさせず原則として正体で使用する。



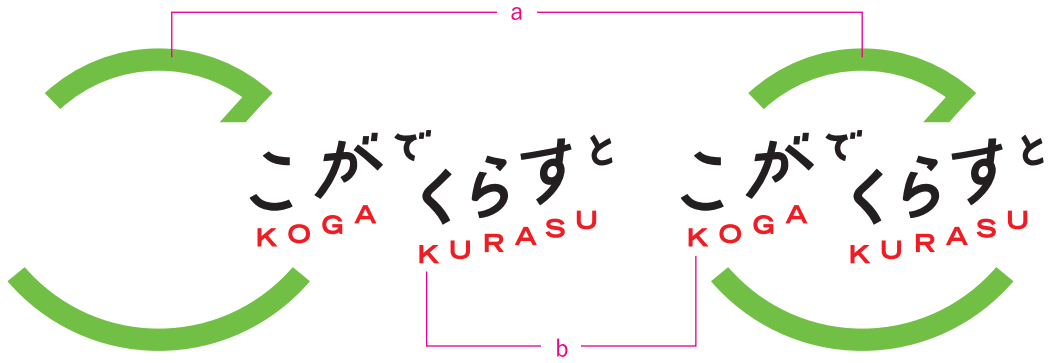
配色はカラーa(マーク部分)、カラーb(ロゴタイプ・アルファベット部分)、スミで構成。

推奨カラーパターンは古河市をとりまく自然・環境をイメージした6パターン+白で展開。

市民が好みの色を選んで使用することができ、古河市の多様化する社会を表現する。

1.空		2.水		3.花		4.夕日		5.光		6.みどり		7.白	
a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
C = 60%	C = 80%	C = 70%	C = 85%	C = 0%	C = 40%	C = 0%	C = 0%	C = 0%	C = 0%	C = 40%	C = 80%	C = 0%	C = 0%
M = 0%	M = 20%	M = 35%	M = 80%	M = 60%	M = 80%	M = 40%	M = 75%	M = 10%	M = 60%	M = 0%	M = 0%	M = 0%	M = 0%
Y = 10%	Y = 0%	Y = 0%	Y = 0%	Y = 35%	Y = 0%	Y = 100%	Y = 55%	Y = 90%	Y = 100%	Y = 100%	Y = 100%	Y = 0%	Y = 0%
K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%	K = 0%
R = 89%	R = 0%	R = 76%	R = 62%	R = 239%	R = 166%	R = 246%	R = 235%	R = 255%	R = 240%	R = 171%	R = 0%	R = 255%	R = 255%
G = 195%	G = 153%	G = 141%	G = 66%	G = 133%	G = 74%	G = 171%	G = 97%	G = 226%	G = 131%	G = 205%	G = 167%	G = 255%	G = 255%
B = 225%	B = 217%	B = 203%	B = 152%	B = 133%	B = 151%	B = 0%	B = 90%	B = 0%	B = 0%	B = 3%	B = 60%	B = 255%	B = 255%
DIC 2175	DIC 140	DIC 141	DIC 222	DIC 28	DIC 146	DIC 85	DIC 77	DIC 2538	DIC 120	DIC 170	DIC 2559		



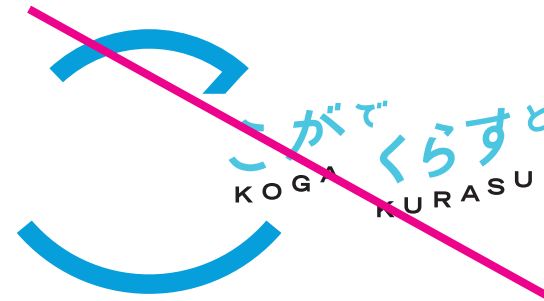


推奨カラーの他にも、カラーa(マーク部分)、カラーb(ロゴタイプ・アルファベット部分)の色を自由に選んで使用することも可能。  
a・bの配色部分を守って選択する。  
視認性が損なわれる場合にかぎり、スミ(こがでくらすと部分)を白にすることも可能。

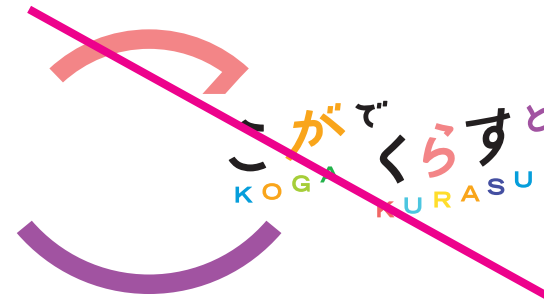
正しい使用事例



間違った使用事例



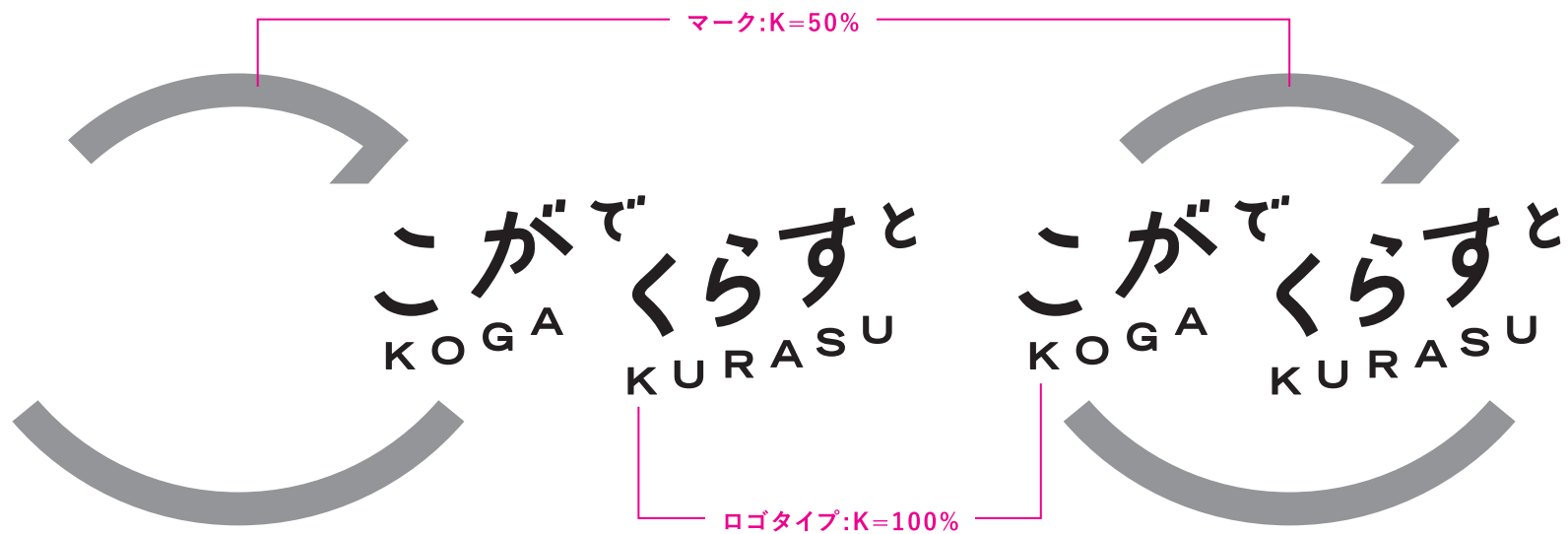
「こがでくらすと」部分はスミか白を守る。



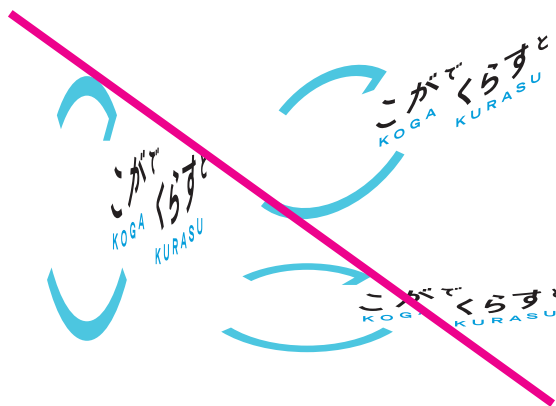
a・bの部分を無視した配色



モノクロ印刷など、やむを得ずモノクロになる場合は、マークはK=50%、ロゴタイプはアルファベットも合わせてK=100%とする。



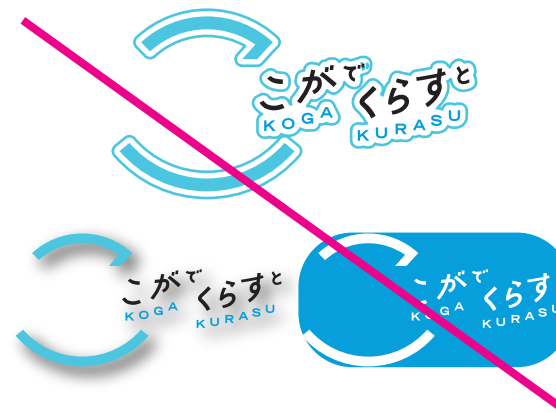
以下のような使用は禁止する。



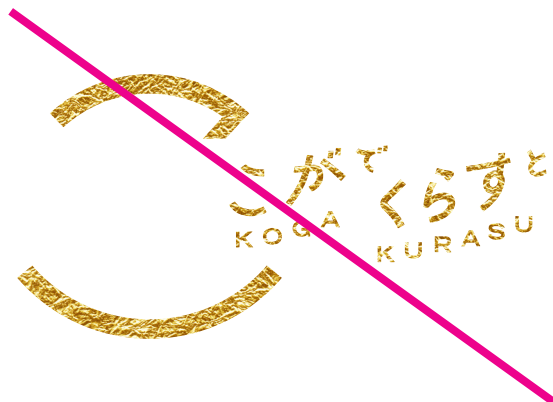
変形



パーツの比率変更



フチ・枠・影などの他要素の追加

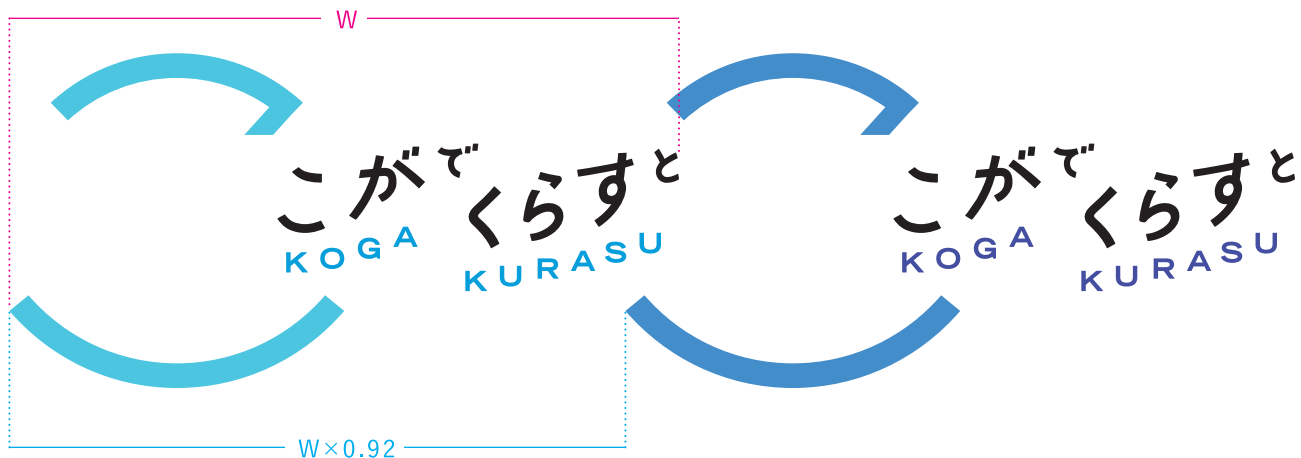


テクスチャーの追加



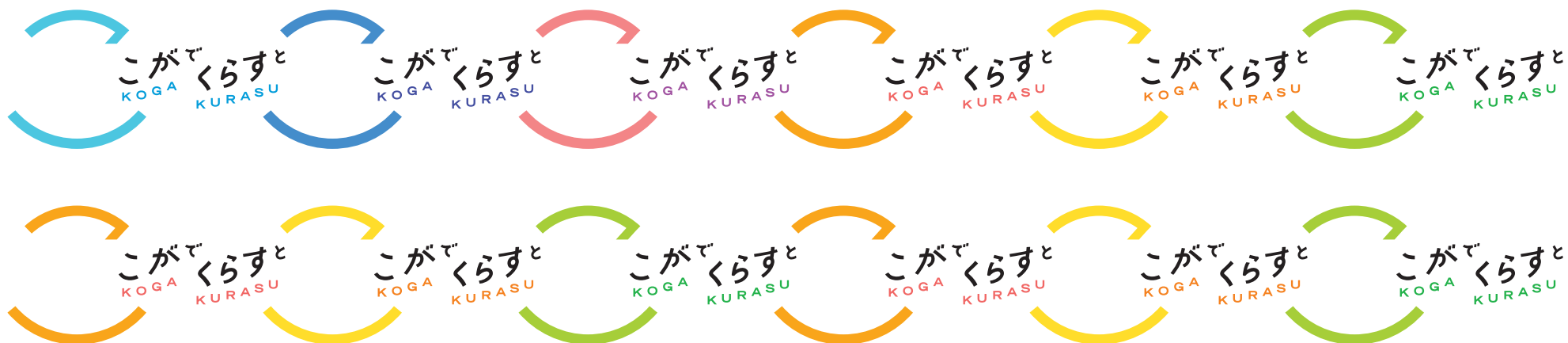
イメージを害するような強い図形・背景の追加

ロゴマーク基本パターン①を連続させることで、古河で暮らすしあわせの連鎖・つながりを表現。



水平に連続させる場合、  
ロゴマークの間隔は $W \times 0.92$ を基本とする。

推奨カラーで使用する場合、カラーパターン1～6の順序を守ると虹色のようなグラデーションをつくることができる。  
カラーパターン1以外からはじめたり、順序変更・1～6の中で使用パターンを選択することも可。



基本の水平状態から、上下に動かしたり回転させたりすることで、ラインに動きをつけることも可能。

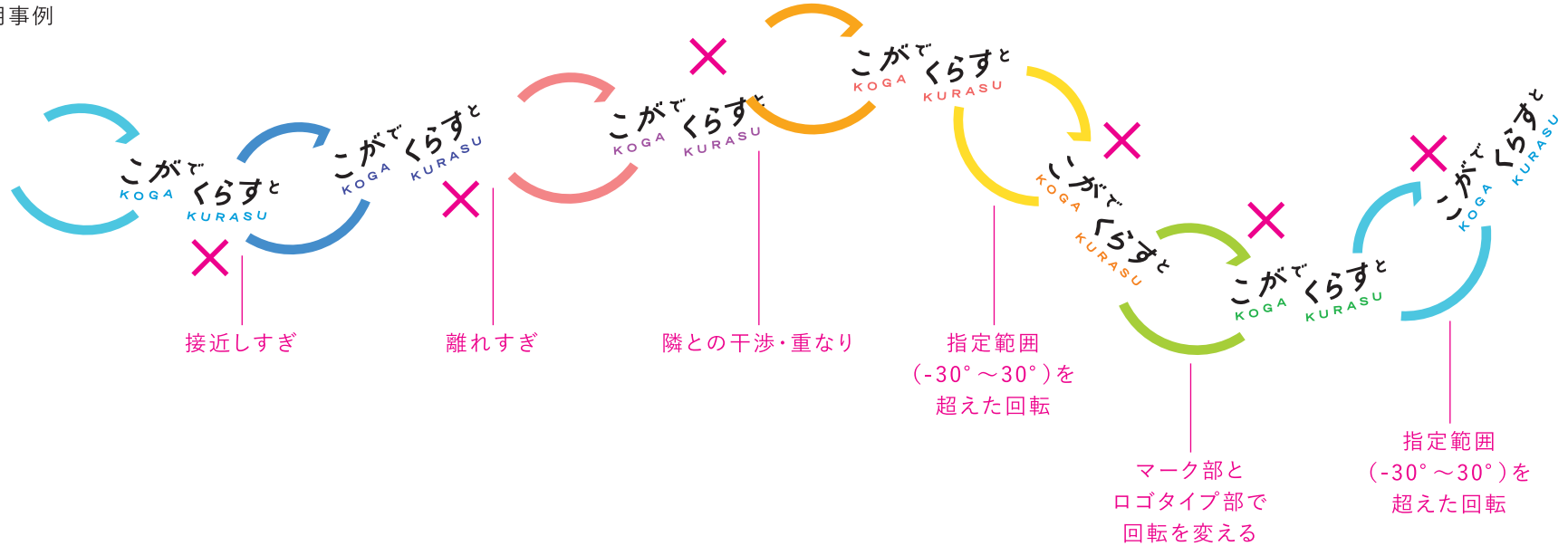
重なりやつながりに注意して微調整する。

回転体も合わせて使用する場合、最低ひとつは正体であることが望ましい。

正しい使用事例



間違った使用事例



ロゴマーク基本パターン①と写真を組み合わせることで、「古河で暮らす幸せ」を切り取る。



マークの内部に、古河で暮らす人や特産品などのモノなどの写真の切り抜き、市民のメッセージなどを入れる。



写真に重ねて使用する場合は、視認性を損ねない色を選択する。

メッセージやワークショップなど、プロモーションの意志が強く反映される制作物は、以下のフォントの使用を推奨する。

<p>第1推奨フォント</p>	<p>筑紫ゴシック Pro</p> <p>Avenir</p>	<p>あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、 うつくしい森で飾られたモーリオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。 祇辻 飴葛 蛸鯖 鰯 噌 庖 箸 ABCDEFGHIJKLM abcdefghijklm 1234567890</p> <p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890</p>
<p>第2推奨フォント</p>	<p>游ゴシック体</p> <p>UD新ゴシック</p> <p>Arial</p>	<p>あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、 うつくしい森で飾られたモーリオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。 祇辻 飴葛 蛸鯖 鰯 噌 庖 箸 ABCDEFGHIJKLM abcdefghijklm 1234567890</p> <p>あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、 うつくしい森で飾られたモーリオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。 祇辻 飴葛 蛸鯖 鰯 噌 庖 箸 ABCDEFGHIJKLM abcdefghijklm 1234567890</p> <p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890</p>